

高齢者施設におけるコロナ抗体測定に向けた共同研究 (中間報告)

—コンパクト免疫測定装置 (IA-100)を用いた新型コロナウイルス追加接種前後のS-IgG抗体測定研究—
(東京都医師会・東京都老人保健施設協会・共同研究先S社による共同研究事業)

東京都医師会 (自宅療養・高齢者施設担当)

副会長 平川 博之

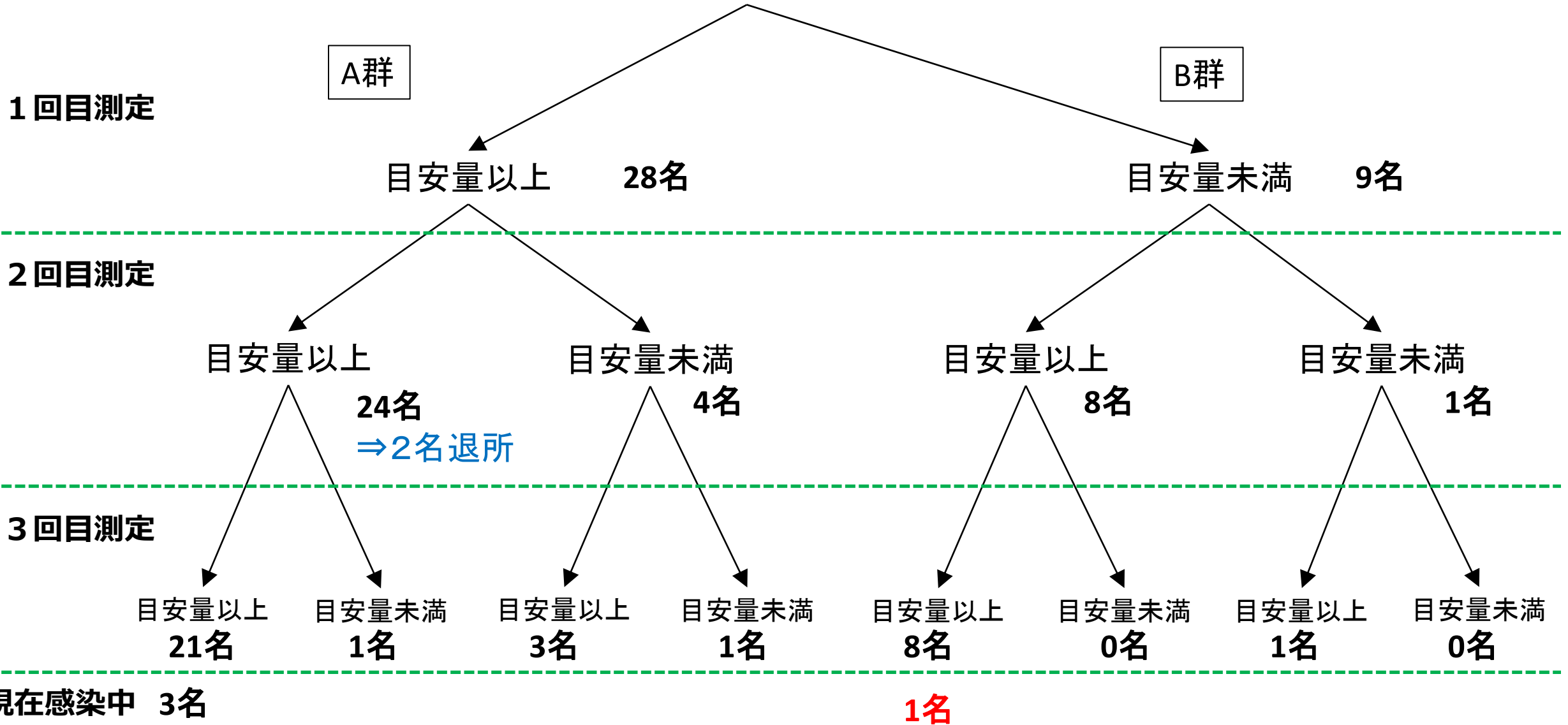
理事 西田 伸一

理事 佐々木 聡

理事 荘司 輝昭

S-IgG抗体測定結果のまとめ

都内A老人保健施設入所者37名



(*)共同研究先S社の開発試作品を用いて、S-IgG抗体測定を実施した。

中間報告のまとめ(速報値)

- 老健施設入所者37人(最終的には35人)を対象にワクチン追加接種前後に **S-IgG抗体測定**を実施した。
- ワクチン追加接種前、抗体量が少ない方が24%いた。
- ワクチン追加接種後、1カ月程度でも抗体量が少ない方が18%いた。
そのうち1名は追加接種2か月を経過したあたりでの目安量以上の抗体を獲得できた。
- ワクチン追加接種後、2か月を経過しても目安量以上の抗体を獲得できない者が5%いた。
- 目安量以上の抗体を獲得できても、感染した者が10%いた。但し重症化はしていない。
- 更に対象者を増やして**S-IgG抗体測定**の有用性について検討していきたい。